

美 淑 束 兔

機種についてはN社製品ML用電子ピアノP-400親機1台、子機20台（両機共に椅子付）、調整卓1台を図のような配置で設置した。

尚この機種の選定に当っては従来の個人レッスンの良さも大切にしたいと思い、出来るだけ操作の容易なもの、又中でも一番ピアノタッチに近いものを配慮して決定した。

3. 器楽Ⅰ・Ⅱについて

器楽Ⅰ・Ⅱは音楽工の中に位置し次の様になっている。

器楽Ⅰ { 1年前期 1単位 必修
1年後期 1単位 選択

器楽Ⅱ 2年通年 1単位 選択

従来保育コースの器楽Ⅰ・Ⅱは個人レッスンであった。MLの授業を開始するに当り、20人ずつのクラス編成が必要となった。学生1人1人のピアノの進度を調査し、それによって進度表を作り基準を決めて大きく3つのランクに分けた。

A (上級者)

B (中級者)

C (初級者)

集団指導を行う場合、力の差が大きいと指導がしにくい、又学生にとっても不満が生ずると考えた。20人のクラスは進度のほぼ同じ学生を揃えた。2年生については個人レッスンがあったので確実な進度が得られたが、授業の選択がどのようになるか、オリエンテーションが終り各自の時間割が提出されないと出来なかったもので、その後クラスごとにチェックし組んだ。1年生については入試の資料を参考に2年生と同じ様に3ランクに分けた。

4. MLの授業編成と内容

1・2年生共に3ランクに分けたが授業内容を次の様に決めた。

Aクラス ……個人レッスン（ピアノ）

Bクラス } ……MLレッスン

Cクラス }

〈1年生について〉

クラス分けとレッスン

ク ラ ス	レ ッ ス ン の 型	回 数
A ク ラ ス	個人レッスン	週 1 回
B ク ラ ス	} MLレッスン	週 1 回
C ク ラ ス		

MLクラス授業

M L ク ラ ス 授 業		使 用 テ キ ス ト	内 容
人 数	1 クラス 20名	ツイグラー教則本 1～3 (音楽之友)	教則本を中心に、10の音階 (dur. moll) 「幼児のうた」
指導者数	2 名	幼児の音楽教育法 (音楽教育研究協会)	

内容について1年生では教則本を中心にレッスンを行うが、MLの導入により特に教則本の中の連弾を多く弾かせてアンサンブルの楽しみを味わう事を大切に考えた。又後期には、幼児音楽教育法の中から実習に必要な曲を選び練習をする。10の調音階（長調5，短調5）。

＜2年生について＞

クラス分けとレッスン

ク ラ ス	レ ッ ス ン の 型	回 数	
A ク ラ ス	個人レッスン	週 1 回	
B ク ラ ス	} MLレッスン	隔 週	個人レッスン 隔週
C ク ラ ス			

2年生のMLのクラス授業については、MLのレッスンと個人レッスンを隔週で行う。

MLクラス授業

M L ク ラ ス 授 業		使 用 テ キ ス ト	内 容
人 数	1 クラス 20名	ブリムホール（1～3巻） 幼児の音楽教育法 (音楽教育研究協会)	教則本を中心に行う 音階7つの調（2オクターブ） 「月の曲」を決めて行う。
指導者数	2 名		

MLの授業を行う様になり4月から幼児の音楽教育法の中より月に3曲程「月の曲」を決めて、ブリムホール教則本と並行してレッスンを行う。音階は1年生で1オクターブ10の調を行うが、2年生では2オクターブ7つの調を行う。（長調5，短調2）

10月より毎月1回、「月の曲試験」を行うことにし、次の様な予定表を2年生全員に配布した。

ML 月のうた試験曲について

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月
海 おかえりのうた 雨ふりくまの子 お弁当のうた トンボのメガネ おはようのうた こいのぼり	とんでったバナナ 水 遊 び 遠 足 七 夕 おばけなんてないさ まっかな秋 た き 火	おはなし指さん サッチャン ぞうさん 犬のおまわりさん あわてんぼうのサンタクロース お 正 月 大きな古時計	手のひらを太陽に 雪のペンキやさん まめまき 線路は続くよ うれしいひな祭り 思い出のアルバム ランニングマーチ	春よこい 春が来た 1年生になったら

これは4月からの曲に何曲かを加えたものである。MLの授業は、個人レッスンと違いみんな一斉に出来るのでグループごとの伴奏、或いは個人の伴奏で歌ったり、又ある時は20人一緒に弾きうたいを行う事が出来る。そんな時は学生も楽しそうな様子が伺えるし、指導者も一緒に楽しむので両者良い雰囲気です。これはMLの良さの1つであると思う。

5. MLの授業で工夫した点

1) 授業に於けるMLの座席について

MLの授業が始まった4月は、各クラスごとに席を決めて座席表を見乍らレッスンを行った。しかし授業の能率が悪く思う様なレッスンが出来なかった。或る時、進度ごとに小グループを作ってレッスンをすると、以外に利点が沢山あったので、その後この型を取ることにした。利点を挙げて見ると

- ① 1つの曲について何回も同じことを言わないでも良いので、その分丁寧に見る時間が出る。
- ② 1つの曲についてお互に聞く事が出来て練習のポイントがつかめる。
- ③ グループが決まると、その型のグループが続くが、或る程度練習の励みになっている面があるように思われる。

この様な結果から座席表は必要なくなり、代って名札を持って毎回各自が、自分の進度に合ったグループの所へ行くので、時には毎回席の変る学生もあった。

2) 学生への調査

時々授業の折学生にMLの授業の進度について記名アンケートを試みた。これは特に1年生を対象に行った。まだ入学して間もないので個々の実態把握のためと、資料に違いが見られた為である。

62. 5. 20

番号 名前

1. ピアノを習った事がありますか。
2. いつ頃ですか。
3. 何を弾きましたか。
4. MLの授業の進度はどうですか。

A 容易

B 普通

C 難しい

上記の調査は62年5月14日～20日の間に1年生を対象に行った。回収率は97.8%である。

1. ピアノを習った事がありますか。

経験の有る学生 90.2%

経験の無い学生 9.8%

2. いつ頃ですか。

幼稚園・保育園の頃…………… 7.8%

小学校の頃 ……………47.2%

(その頃から続けているも含む)

中学校の頃 ……………21.5%

(その頃から続けているも含む)

高校の頃 ……………23.5%

3. 何を弾きましたか。

バイエル ……………38.1%

ツェルニー 100……………22.3%

ブルグミュラー……………13.1%

ソナチネ ……………12.5%

ツェルニー30…………… 6.5%

ソナタ・その他…………… 7.2%

4. MLの授業の進度はどうですか。

A 容易 4.7%

B 普通 61.5%

C 難しい 30.2%

MLの授業の進度はどうですかの質問については61.5%が普通と答えている。難しいと答え

た学生は30.2%もいるが、その中から本人の申し出や、担当指導の立場から変更した方が良く
と思われる学生について、クラス変更を行った。進捗を揃えたことで学生の気持も落ち着いた。

3)「月の曲」の練習を通して

月の曲の始めて見ると色々と気の付く事が出て来た。メロディーは弾けても伴奏の難しい
曲がある。その場合、伴奏型は和音でも単音（根音）でも良いことにして、主旋律を大切に弾
かせた。和音の伴奏については主要三和音と属7を中心にして伴奏させたが、MLの一斉授業
を始めてから、この機器を利用して和音をもう少し加えたり、コードネームをしっかり教える
ことが可能であり、その必要を感じている。この様な面でもMLの活用が出来る。

一方に於いて学生の力に合った伴奏を考えたいと思った。学生によっては本が難かしく伴奏
に苦勞している。例えば本の中の1曲について本以外に2種類の伴奏を考えて見た。伴奏型に
ついて

1. 単音を用いる（根音）
2. 本の伴奏を容易に直す（和音）（分散和音、その他）
3. 本の伴奏

おぼけなんてないさ

榎 みのり 作詞
峯 陽 作曲

譜例1

譜例2

譜例2については(f)の方法で弾くことも出来る。

又本には特に指使いについて印されていないので、指導者が指使いを教えることによって力の低い学生でも弾けるようになり、メロディーを歌うことが出来る様になる。この事は重要である。授業では特に指使いに注意して細かく書くことにしている。今回は、月の曲の中から数曲を選び教科書をもとに、指使いを細かく記入し並びに伴奏型を省略した曲のプリントを作り授業を進めて見た。ほとんどの学生は本を利用するが進度の遅い学生はプリントを利用している。又曲によっては多くの学生がプリントを利用していて、やはりこの様な試みの大切さを思った。

6. MLの授業調査についての調査

62年12月16日、保育コース1年生・2年生の学生を対象に調査を行った。目的はMLの授業についてどう感じているかと言う事と、最近試験前を除いて学内の練習室のピアノの使用が少ないので、学内の練習室の利用について調べて見たいと思った。ここではその事を1年生を対象に行った。2年生は実習や就職などで動きの多い時なので、この質問は省略した。以上の2点につき調べる為次のような調査用紙を配布した。1年生について回収率は88%であった。

1年生を対象とした調査

(1年生) ML授業について調査

62.12.13

学生番号

名前

1. 毎日ピアノ練習をどのくらいしますか
2. 練習をするのは学校ですか、自宅その他ですか
3. 自宅にピアノ、オルガン、エレクトーンその他何か楽器がありますか
4. MLの授業について 連弾など楽しいですか
5. その他 (希望 感想など)

質問1. 毎日ピアノの練習をどのくらいしますか

練習	割合	平均時間
毎日練習している。	40.4%	毎日 38分
週 5 回練習している。	1.8%	1 回 66分
週 4 回練習している。	17.7%	1 回 64分
週2～3回練習している。	39.2%	1 回 45分
週 1 回練習している。	0.6%	1 回150分

毎日練習している学生が約40%で平均38分練習している事は、予想していたより大きい数字であった。次に多いのは週2～3回が約39%であったが、予想としてはこの辺が一番多いと思っていた。この中で週の半分以上練習する学生が約60%になる。

質問2. 練習をするのは学校ですか自宅ですか

学校で練習……………	31.2%	} 74.1%
学校と自宅で練習……………	42.9%	
自宅で練習……………	25.7%	

この質問については予想より大変多い利用率であった。調査結果より学内練習室は大切な練習場所となっていることがわかった。

質問3. 自宅にはピアノ、オルガン、エレクトーン、その他楽器がありますか

ピアノ……………	71%
オルガン……………	25.7%
ギター……………	9.8%
エレクトーン……………	6%
電子ピアノ……………	3%
キーボード……………	3%
シンセサイザー……………	1.8%
琴……………	1.8%
その他……………	4.9%

(サックス, クラリネット, トランペット,
フルート, バイオリン, 尺八, 大正琴)

この質問についてはピアノが大変普及しているに驚いた。ピアノ、ギター、オルガンと2つ以上楽器を持っている学生が23%あった。今回はリコーダ、メロディオン等が入っていないが、これはほとんどの学生が小中学校で習っているのをそれを入れるともっと多い数になると思う。和楽器は非常に少なかった。最近の傾向として自宅にピアノがあり下宿している場合、学内練習室でも練習するが、下宿に電子楽器等を持っている、(又購入したい希望で相談に来る)学生が時々あるようになった。手軽なこの楽器は場所も取らず、価格も手頃なものがあり又音量調節等も出来るので、ピアノと併用する楽器としてこれから注目して行きたい。

質問4. MLの授業について、連弾など楽しいですか。

1) MLの授業を楽しんでいると感じている学生。

楽しい……………53%

上手に出来た時

緊張するが楽しい

連弾好き・きれい

2) MLの授業は楽しくない…………… 6.7%

進度が遅い

上手に出来ない

練習あきる

53%の学生が楽しいと感じている。又特に回答の無かった約40%の学生は普通と思われるが、6.7%の楽しくないと答えた学生もあるので、この原因分析と今後の対応について検討して行く必要があると考える。

2年生を対象とした調査

(2年生) ML授業について調査

62.12.16

学生番号

名前

1. 毎日ピアノの練習をどのくらいしますか
自宅には何か楽器がありますか
2. 月のうたの曲は、実習で役立ちましたか
月のうたの試験はどうですか
3. MLの授業について
連弾など楽しいですか？
4. その他 (希望 感想など)

2年生の回収率については62.7%であった。これについては実習・就職等の時期と重なったことも原因していて1年生より低かったと思われる。

質問1. 毎日ピアノ練習をどのくらいしますか、自宅には何か楽器がありますか。

練 習 日	割 合	時 間
毎日練習する。	38.6%	毎日60分
週 5 回練習する。	2.9%	1回60分
週 4 回練習する。	14.8%	1回60分
週2～3回練習する。	40.5%	1回60分
週1回、ほとんどしない。	3.9%	(時間記入なし)

毎日練習するのは38.6%、一番多いのは週2～3回であり40.5%あった。これはほぼ予想通りであった。週の半分以上練習する学生は56.3%であった。練習時間は1回約60分のものである。時間についてもほぼ予想通りであった。最後のほとんどしないの回答は、その週に何かあって出来なかったのか、或は全然練習せずMLの時間のみ練習するのかわからないが、注意して行く必要があると思った。

楽器について

ピアノ 61.3%

オルガン	19.8%
ギター	8.9%
エレクトーン	6.9%
大正琴	3.9%
フルート	2.9%
電子オルガン・その他	7.6%
エレピアン・キーボード・クラリネット	
(琴、尺八、ドラム、サックス マンドリン、小太鼓、ポーターサウンド)	6.9%

ピアノは61.3%であった。ピアノ、オルガン等4種類以上楽器を持っている学生は10.8%あった。又和楽器は5.9%と少なく、数は少ないが若い人の好むキーボード、管楽器、電子楽器などを持っているのがわかる。

質問2. 月のうたの曲は実習で役立ちましたか、月のうた試験はどうですか

(今年よりMLの授業で力を入れて来たので聞いて見た。)

役立った 55.4%

余り役立たなかった 2.9% (実習が早かった)

半分以上の学生から役立ったとの回答でMLで取り上げ効果があったと思う。回答の中には「実習中突然伴奏を頼まれたが練習していたので落ち着いて弾けた」というもの又就職試験でも同じ様な経験をした回答などが多数あった。

質問3. MLの授業について楽しいですか

沢山歌が弾けて楽しい	} 69.3%
苦しいが出来ると嬉しい	
月のうた試験良い	

ここでは2番と3番の質問の一部が重なって書いてあった。69.3%が楽しい、良いとの回答であった。連弾はクラスによって扱いが違った為記入が少なかったので省略する。

質問4. その他 (感想など)

- MLでは時間が有効に使える。
- 注意された事がすぐ練習出来る。
- 練習不足でも出られ、2年になってやる気が出た、MLのおかげと思う。
- ヘッドホーンで集中出来る
- ピアノとタッチが違う
- 椅子が高い
- ヘッドホーンで疲れる
- 全体でするので個人レッスンより細かい指導に欠ける。

以上の様な感想があった、ここは1・2年生の意見をまとめて見た。

全体を通して調査の結果からMLの授業については、良いと答えている。又学内練習室の利用については1年生で調べて見たが74.3%が利用していて、予想以上に多い学生が毎日練習していた。

おわりに

MLを導入してから10ヶ月足らずであるが模索しながら1年が経過しようとしている。器楽I・IIの授業内容もMLが入り少し変って来ている。MLの長所を考える時に

1. 一斉の授業が能率的に出来る
(譜読みの段階でリズム、理論など)
2. 月の歌など同じ教材の時は便利で数多くの曲が出来る。
3. 各個人が授業時間たっぷり練習出来る。
4. 合わせる楽しさがある。
5. 音量を調節出来る。
6. 調整卓を使って離れていてもレッスン出来る。
7. 音色の切替が出来る。

以上の様な理由から利用の仕方を工夫すると色々の試みが出来そうな気がする。しかし反面注意しなければならない面もある。

1. タッチやニュアンスの面でピアノとは違う所があるので細かい指導に欠ける面が出る。
2. 或る程度集団で進む場合が多いので個人指導がおろそかになる面がある。

62年度前期試験はMLを導入してから初めての試験であった。1年生のMLの学生は普段MLでレッスンだが試験はピアノで受ける。タッチの点で心配があったので学生には再三練習室のピアノを使用して練習するように伝えた。試験の結果は音が出ていて例年と同じような出来であった。当時は音が出ていて良かったと思っていただけであったが、この調査を終えて見るとMLを授業で使用するが各自練習は学内練習室を多く使用し、更に自宅にもピアノを持っている学生の多い事が訝り、その結果がタッチに現われていたのだと思われる。

2年間という限られた期間内に入学前の実力の違う学生夫々の能力に応じ能率的に、又効果的にピアノの力をつける1つの手段としてMLは有効と考えられる結論を得た。しかし丁寧なピアノの個人レッスンと比較すると当然不満な面もある訳で、これは単にピアノの技術面だけでなくメンタルの面でも不足はある。従って、MLと個人レッスンは本質的に比較するべきではないと思う。前述の補助手段としてこの機器の特徴を良く見極めた上で、不足については授業に於いてこれを補う方策を講ずれば、より効果あるレッスンが出来るように思われる。今後色々の方法で試み長期的な考察が必要である。今回は短期間の経験であるが考察の第一報としたい。